

令和5年度第3回岡山市協働推進委員会次第

令和6年2月5日（月）13:30～

岡山市勤労者福祉センター5階体育集会室

1 開 会

2 あいさつ 市民協働局長

3 報 告

令和4年度市民協働推進事業の結果（資料1）

4 議 事

令和6年度岡山市市民協働推進事業の審査（資料2～3）

- ・ 審査方法
- ・ 提案事業のプレゼンテーション 各15分
- ・ 質疑応答 各 5分
- ・ 採点 各 5分
- ・ 全体審議 10分

5 その他

6 閉 会

令和4年度市民協働推進事業一覧

事業名	提案団体	協働部署	令和5年度の方角	
1	保護犬の人馴れ訓練プロジェクト 【行政提案】【継続】	特定非営利活動法人 烏城犬猫動物育英会	保健所衛生課	担当課で一般施策化
2	保健所に收容される乳飲み仔猫対策について 【行政提案】【継続】	岡山手のひら子猫	保健所衛生課	担当課で一般施策化

保護犬の人馴れ訓練プロジェクト

●課題：一頭でも多くの保護犬を譲渡するためには、訓練を担う人材の育成と譲渡の環境整備が必要である。

●主な成果と今後の対応

目標	主な実施内容	成果	今後の対応
人馴れしていない犬の訓練体制の整備	・ボランティアの発掘と育成 ・サポートメニューの検証と見直し	・10名/週1回以上のボランティアを確保することができた。 ・譲渡におけるサポートの検証を行い、問題がないことを確認した。	令和5年度より一般施策化
譲渡の情報及び機会の拡充	・保護犬情報の発信 ・譲渡会の開催 ・飼い主への助言・指導 ・譲渡先へのアンケート調査	・団体と市のHPで情報発信を行った。 ・譲渡成立件数：19件/目標20件 ・譲渡先へのアンケートは実施せず継続的なヒアリングと助言を実施した。	
安定的・継続的な事業展開を支える支援基盤の確立	・専門家との関係強化 ・理解者、支援者の拡大 ・一般施策化	・特定の訓練士、獣医師と関係強化をはかることができた。 ・岡山理科大学専門学校や岡山青年会議所との事業連携を実現できた。	

●事業の経過と協働の状況

事業の周知拡大等により、当初の想定より保護犬の数が増えるなど、想定外の状況下での事業となったが、着実に支援の環境整備を進めることができた。一般施策化により、継続的かつさらに幅広い協働への発展が期待される。



ボランティアスタッフ



メディアを通じた情報発信

【令和5年度】一般施策化

ESD・市民協働推進センターから：
2年間の協働事業を通じて、着実に理解者、支援者を拡大することができました。一つ一つのNPOの基盤は脆弱なため、継続的に連携先となる団体・機関を広げ、つなぎながら事業の持続可能性向上を実現していただきたい。

保健所に収容される乳飲み仔猫対策について

●課題：殺処分ゼロを維持するためには、ミルクボランティアの発掘・育成と譲渡のしくみづくりが必要。

●主な成果と今後の対応

目標	主な実施内容	成果	今後の対応
乳飲み仔猫を健康に育てられるボランティアの養成	・ボランティア説明会の開催 ・ボランティア研修会の開催	・説明会を2回開催。47名/目標40名の参加があり、うち7名/目標4名が新規ミルクボランティアに登録した。 ・事業に参加した9名の搬送ボランティアにより、仔猫の生存率が大幅に向上した。	令和5年度より一般施策化
ミルクボランティアの活動継続を支える環境整備	・新規ボランティアへの伴走支援及び伴走支援者の育成 ・医療ケアフローチャート等のツールの運用と見直し ・ボランティア同士の情報交換ツールの運用	・LINEグループの運用によりタイムリーな相談対応と情報交換を実現できた。 ・各種ツールを作成、運用することができた。仔猫にとって適切なケアが提供されることに成功した。	
安定的・継続的な譲渡を実現するためのしくみづくり	・譲渡会の開催 ・譲渡マニュアルの運用と見直し ・ウェブサイトでの情報発信	・年6回の譲渡会を開催、117名が参加した。 ・全体で42匹（保健所22匹、団体20匹）の譲渡を実現した。 ・里親募集サイト、SNS等を活用し猫を飼いたい希望者へ定期的に情報を提供した。	

●事業の経過と協働の状況

実施団体はボランティアの経験と医療の専門性を生かし、協働部署は行政の発信力と信頼性を生かし、適切な役割分担のもとで事業が実施された。事業は当初の計画どおりに進行し、概ね目標を達成することができた。



ミルクボランティア講習会

【令和5年度】一般施策化

ESD・市民協働推進センターから：
一般施策化により、さらなるボランティアの発掘・育成基盤の強化につながることを期待されます。ボランティアの負荷を減らすことは簡単ではないため、継続的に試行錯誤を重ねながら岡山市モデルを構築していただきたい。

令和6年度市民協働推進事業提案 概要

事業番号	提案団体	内容	事業の目標	事業終了後
1	・NPO法人タブララサ ・岡山市環境事業課	<p>イベントによって発生するごみ削減に向けたサポート事業</p> <p>①イベントへの直接サポート イベントに応じたサポートメニューを提案し、環境に配慮した取組のサポートを行う。</p> <p>②コンテンツ、ノウハウ情報発信 環境に配慮した取組の導入を検討している主催者に向けて、サポート事例のアーカイブ情報をホームページ上で発信し、リーフレットの作成・配布を行う。</p> <p>③認証制度のR7年度事業化に向けた制度構築 エコイベント実施による市の環境負荷軽減効果を専門家との協力で数値化し、先行事例実施地域への視察結果等から、チェックリストや申請様式、申請全体の流れなどを構築し、認証制度事業実施を目指す。</p>	<p>R4年度に実施したニーズ調査事業の結果を踏まえ、イベントによって発生するごみ削減を目指す。サポート内容に対する効果検証などを踏まえ、「岡山市エコイベント認証制度(案)」の事業化を目指す。</p>	<p>岡山市から実施団体への委託事業として運営し、認証したイベントに補助金を交付する制度として一般施策化を目指す。</p>
2	・一般社団法人岡山県建築士会 (合同提案:公益社団法人日本技術士会中国本部 岡山県支部) ・住宅課	<p>マンション管理をサポートする団体の裾野を広げるための連携事業 「災害リスクをチェックし、自身のマンションをより詳しく知る取り組み」</p> <p>市民の興味・関心が高く、コミュニティ形成を促しやすい「防災」をテーマとして、居住者・管理組合と専門家の協働による3事業を実施する。</p> <p>①災害リスク調査の実施 (1)マンションの立地特性を知り、防災のために必要な取り組みを住民にアドバイスする (2)マンションの構造特性を知り、マンションにおける災害への備えをアドバイスする</p> <p>②サポート団体の発掘と体制構築</p> <p>③マンション防災パンフレットの作成(仮称)の作成・配布</p> <p>④マンションの適正管理を推進するための新たな補助等の制度化に向けた準備</p>	<p>①建物管理、管理組合の運営、居住者トラブル、高齢者等の見守りなど、マンション管理をサポートする担い手(専門家組織等)を増やす。</p> <p>②「防災」をテーマとしてマンションの居住者同士のコミュニティ形成を促進する。</p> <p>③「マンション防災パンフレット(仮称)」を作成し、市内のマンションに配布する。</p> <p>④市内全域のマンションへ応用可能なしくみ(制度)を運用を開始する。</p>	<p>本事業で関係を構築した団体・専門家とそのノウハウを「マンション管理士派遣制度」に組み込む。(既存の補助制度のメニューを拡充又は新設する。)</p>
3	・平和推進岡山市民協議会 ・福祉援護課	<p>岡山空襲を知らう伝えようプロジェクト</p> <p>岡山空襲展示室に「ボランティアガイド」を設置することで、来館者に展示内容をより深く知ってもらおう。また、「ボランティアガイド」を養成することで、戦争体験の継承や平和活動の担い手の育成につなげる。</p> <p>①岡山空襲展示室の「ボランティアガイド」の養成・設置 (1)ガイド養成のためのカリキュラムを構築し、講座の開催・受講</p> <p>②「ボランティアガイド」の募集 (1)ガイドの募集計画や要項を作成 (2)ガイドの登録と活動、スケジュール調整、出勤管理等</p>	<p>「ボランティアガイド」の募集・養成・設置・運営の仕組みを構築し、岡山空襲展示室の活用の拡大を図る。</p>	<p>本事業で構築した「ボランティアガイド」の設置・運営の仕組みの一般施策化を目指す。</p>